

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年11月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673300077
法人名	有限会社 あおぞら
事業所名	グループホーム あおぞら
所在地	鹿児島県日置市日吉町日置478 (電話) 099-292-2034
自己評価作成日	令和1年7月24日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和元年11月9日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅の中にあり、緑も多くまた車の交通量も少なく安心してゆっくり生活が送れる環境です。また、海拔22mとの事で津波が発生しても安心でき、崖崩れ等の心配もありません。

地域行事が比較的多い地域で、利用者・職員ともに地域の一員として楽しく参加させて頂いております。また、地域住民のボランティアを中心に訪問を受け入れを行っており、御家族や知人等の馴染みの関係を保つようにしています。

あおぞら農園では利用者(御家族)から野菜の作り方を教えて頂きながら、一緒に栽培・収穫を楽しんでおります。

利用者・御家族・職員が笑顔になれるホーム作りをしていきたいと思っております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、コスモス、ひまわりとネーミングされた2ユニットである。

近隣には、小学校や書店、スーパーマーケットやガソリンスタンド、金融機関があり幹線道路から程近く、利便性がよい閑静な住宅街に位置している。道路に面した駐車場の奥に門扉があるが、日常的に開放されており地域の方々が気軽に立ち寄り、せつぺとべや太鼓踊りなどの地域行事はホーム庭先まで踊り連が来訪するのが恒例になっている。駐車場横に畑があり、玄関付近には季節の花々が植えてあって、散歩時に利用者が摘んできては、花を挿して愛でている。

現在の利用者は、要介護3～要介護4に認定を受けておられる方が多く、認知レベルは様々であるが、一人ひとりの日々の過ごし方や心身機能、残存機能を活かした個々の能力やこれまでの生活習慣に配慮し、日常生活のなかで本人の思いや希望を聞き取り本人本位に過ごせるよう職員全員で取り組んでいる。

管理者や職員は、地元の食材を活用するよう努めており、家族や地域の方の差し入れや畑の野菜などを献立に活かしている。重度化もあり嚥下困難な方もおられるため食事形態を工夫するなどして、食をを楽しみこれまでの食生活が継続していけるよう配慮している。職員は、保存食(らっきょう作りや梅干漬けなど)にも力を入れ、季節や行事に合わせてあく巻きやお菓子作りを通じて利用者とともに季節を感じたり、ソーメン流しに全員で出かけている。また、本人や家族の希望があれば家族の協力ももらいながら外食が楽しめるよう支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝朝礼で理念を唱和している。	理念は、毎朝職員全員で唱和し意識の向上を図り日々のサービスに活かしている。利用者が地域の中で安心して暮らせるよう事業所が地域と積極的に繋がり日常的な交流を目指すことを意識した理念になっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会に入り、地域行事や学校行事など参加している。	自治会の総会や清掃活動への協力、また、地域と一体化した自主防衛活動の組織化を自治会に申し出ているところであるが、子ども会活動や敬老会を通じて日常的に交流がある。今年は、小・中学校の合併などがあり受け入れができなかったが、今後も社会貢献し認知症や事業所の取り組みを理解していただきたいと考えている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	小学校の交流や中学校の職場体験を受け入れ、認知症理解に努めている。また、認知症啓発運動ラン伴に参加し、地域の方に認知症を知ってもらう機会を作っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月1回開催。職員も参加し近況報告を行い、行政、家族、地域からの意見を参考にサービス向上につなげている。	ご夫婦で参加される家族もあるなど、会議への意識が高まっているが、昨年の家族会では、事業所の運営について意見交換を行うなど有意義な時間が持てた。日置市の中でも日吉町が一番に高齢化率が高いことや少子化の問題などもあり、地域課題や事業所の悩みなどを話し合い相互に協力関係が築けるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に出席して頂き情報交換し協力関係を築いている。</p>	<p>市担当者や福祉事務所職員、社会福祉協議会との連携があり、市とは、「オレンジウォーク（旧ラン伴）開催での協力関係や地域包括支援センターから地域住民の見守りを依頼されるなど相互に情報を共有し協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会を行うとともに職員間で情報交換しケア統一ができるようにしている。</p>	<p>玄関、門扉は施錠せず駐車場は地域に開放して自由に出入りができるよう配慮している。職員は、定期的な研修会に参加し知識や技術を研鑽しているが、個別カンファレンス、担当者会議などを通じて個々の利用者のケア方法について検討、身体拘束に留意したケアに取り組み安全に暮らしていただけるよう配慮している。管理者は、方言の使い方も誤ることがないように職員の言葉使いに注意し指導・助言している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>社会研修等で学んでいる。また、毎日トイレ・入浴時身体チェックし、アザ等あった場合虐待等なのか考査している。環境に問題があった時はその都度対応し職員間で情報共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修に参加し情報を共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>受け入れ時に管理者やケアマネージャーが立合い説明をし、納得して頂いての契約となっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常の会話や面会時に要望等無いか聞き取りをしている。</p>	<p>管理者や職員は、家族との関係性も良好であり家族会で、運営について話し合う機会を設けている。利用者や家族は、意見、要望などを面会時や行事時などに日頃から直接話されることが多いが、職員は意見が出しやすい雰囲気作りに努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>ミーティング等で必要な物など管理者に報告し検討してもらっている。</p>	<p>運営者は、随時に職員と個人面談し、管理者はミーティングなどで意見や提案を聞く機会を設けている。職員が年齢を重ねてもなるべく無理をせず働きやすくするために、体力的なこと、夜勤の回数などを考慮し労働条件の整備に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員が働きやすい環境を作る為に職員の状況を把握し話し合いの上就業環境の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員一人ひとりの力量を把握し、市や県の研修会に参加する機会を確保し、スキルアップできる様にしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会などに参加することで、他の事業所と情報交換など行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	お茶時等ゆっくりとして時間に話を傾聴し安心して生活できるように寄り添っている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	面会時心配事や不安などあれば、その都度対応し信頼関係を作れるよう努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご本人・家族情報提供書から情報を収集し支援できる事を考えて対応している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員と一緒にできる事を行いご本人の趣味があればして頂き、楽しく過ごせるよう対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族参加型のイベントを実施し、ともに楽しい時間を過ごしていただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と外出したり、近所の知人の方の訪問を快く受け入れている。	家族の利用者に対する思いや絆が途切れることがないよう支援するとともに電話の取次ぎや手紙の代読、代筆など支援したり、自宅訪問、墓参りなど援助して馴染みの関係が途切れることがないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	起床の声掛けを利用者同士でしたり、居室掃除をしたり良い関係性で生活されている。また、居室に呼び入れて楽しく会話されたりとしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方の現状を聞く為に連絡を取り合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話の中から本人の希望を把握し本人が求めている支援ができる様に努めている。	利用者一人ひとりに寄り添いコミュニケーションを取り傾聴することに努めている。また、家族からの情報を参考にしたり、カンファレンスなどで職員間で情報共有を図り本人の思いに触れ気持ちを汲み取るなど本人本位に支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に、生活習慣や既往歴等の聞き取りを行って、入所までの経過の把握に努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日に2回のバイタルチェックを行い異常の早期発見に努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状把握をし、変化が生じた際は本人・家族の意見を取り入れ介護計画を作成している。	アセスメントノートがあり、職員全員が情報共有に努めながら介護記録に記載している。月1回、カンファレンスを開催し、現状の課題や目標達成状況を踏まえ、サービス内容を見直すなど定期的にモニタリングを実施、遠方の家族には事前に電話で計画を説明し同意を得て介護計画書を郵送している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や申し送りノートを活用し、情報共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じてその都度検討し取り組むようにしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地産地消。地域の方々と交流も兼ねている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診・往診とその方々に合った支援を行っている。受診については、家族の協力を得ている。	本人や家族が希望するかかりつけ医であるが、訪問診療や訪問看護の利用があり、体調不良時などは往診を依頼し適切な医療が受けられるよう支援している。また、他科受診などは家族の協力を得られるよう協力関係を築いており、薬剤師との連携もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	分かりやすいように薬など配置している。また状況把握を行い病院と情報共有し適切な診療が行える様に支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は情報提供書を作成している。退院時は病院のケアマネージャーと連絡を取り、退院後の支援について検討を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	急変時や終末期については事前に本人・家族と話し合いを行い、方向性を決めている。	重度化や看取りの指針があり、昨年も看取りを経験している。看取りを終えた後は、職員全員で意見交換し振り返りを行い、出された意見などは次のケースへと活かしている。また、家族に対するグリーフケアも実施しており、互いの気持ちが寄り添う機会を得ている。職員は、看取りの研修を定期的実施し自己研鑽している。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時は主治医へ連絡し指示を仰いでいる。また、対応方法についてはその都度カンファレンス行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年3回防災訓練を実施している。年1回は消防署立会いのものと訓練を行っている。	年3回、風水害を想定した防災訓練を実施している。地域が自主防衛組織を立ち上げているため、事業所としても参画し地域と協力したいと考えている。水、米、缶詰、乾物類などの備蓄がある。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の性格やプライバシー空間、他利用者との交流状態等、その人のプライドを損ねない様に対応している。	居室や排泄誘導、トイレに入る時の声かけを徹底するなどしてプライバシーに配慮し失礼のないケアに努めている。また、接遇マナー研修を行い、特に尊厳については力を入れている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴準備は本人の好きな洋服を選んでもらっている。手伝いについては、自分の仕事として何も言わずにして下さっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	好きな時間に新聞を見たり、花を取りに行ったりしている。また、本人の要望に沿ってその都度対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴や外出時に一緒に衣類を選んだり、化粧をしたりとおしゃれを楽しんだりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自分達でらっきょう・梅干しを漬け込み、作る楽しみや食べる楽しみができる様に支援している。また食事の後片付けのお手伝いを頂いている。	季節にちなんだ食や手作りを意識し、行事食（運動会・敬老会など）やあく巻作り、干し柿や梅干し、らっきょう、などの保存食作りは利用者に協力をもらいながら一緒に取り組んでいる。また、誕生日はリクエストメニューにも対応している。ソーメン流しなどの外食は家族にも協力をもらい、利用者全員で出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	3ヶ月に一度栄養指導を受け、栄養バランスについて指導を受けている。また、水分摂取量は毎日チェックし管理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人の機能に応じて付き添い支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的にトイレ声掛けを実施。チェック表を作成し排泄管理を行っている。	布下着の方が多くおられ、トイレで排泄ができるよう声かけしたり、排泄のリズムを把握して誘導などしている。トイレ扉の内側にカーテンを設置しプライバシーに配慮している。汚臭などなく清潔感のあるトイレである。職員は、利用者になるべく歩行したり、ラジオ体操なども勧めるとともに腸内細菌を増やすよう食事などにも気をつけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の運動と水分摂取量の把握を行っている。また、緩下剤・下剤の調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回入浴を行っている。本人のペースに合わせて、入浴を楽しんで頂いている。	必要に応じて入浴していただいたり、利用者の希望やタイミングを図り個々に応じた入浴を支援している。管理者や職員は、利用者が安心して入浴ができるよう浴室の環境整備を検討している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の体調や生活習慣に合わせて支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬がないように色分けを行っている。また、職員管理し薬の変更時は申し送りノートを活用し共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションへの参加や台所・洗濯干し・畑仕事等その人に応じた支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があった時は、支援できるようにしている。また、御家族に協力をもらい外出したりしている。	車いすで職員と散歩を楽しまれたり、家族とホームから程近い自宅に定期的に帰宅される方や外泊される方がおられる。職員は、本人の希望を聞き取りながら、ドライブや買い物に誘うよう心掛けており、家族との外出が楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お年玉で買い物に行ったりしている。また本人希望時個別で外出し買い物をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があればその都度、電話や手紙のやり取りができるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花を飾ったり掃除（異臭が無い様）の徹底をし、過ごしやすい空間作りをしている。また、エアコン、加湿器を使用し温度・湿度の管理をしている。</p>	<p>玄関はユニットごとに分かれているが、掲示物の横に散歩時に利用者が摘んだ季節の花が生けられている。天窓からは自然の光が射しこみ明るく清潔感のある共用空間である。テレビ前のソファや椅子に座り利用者同士が歓談しながらテレビ鑑賞している和やかな雰囲気のある空間である。壁には、ちぎり絵も飾られている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>友達を気兼ねなく居室に招いて会話ができるような雰囲気を作っている。また、一人で過ごしたい利用者は居室でゆっくりできるよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>思い出深い品物や化粧品等、日常雑貨を居室に置き落着ける空間作りに努めている。</p>	<p>家族のアイデアで集合写真をレイアウトした写真を額に入れ飾ったり、個人のアルバムがあって家族の利用者に対する想いや絆が垣間見られる居室である。職員は、利用者が思い思いに使慣れた品を持ち込み居心地よく過ごせるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>洗濯物干しや台所の片付け等率先してお手伝いして下さる。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない